



広橋の薬師堂 (蜂屋町)

蜂屋から伊深へ抜ける道沿いにある広橋の薬師堂辺りは、江戸時代の僧りよ・円空が蜂屋柿を題材に和歌を詠み、仏像を彫った場所とされています。

「この辺りには昔、一軒のお寺があっただ。そこに一人のお坊さんが滞在し、お礼に三体の仏像を彫っていったそうだ。この薬師堂はその仏像を祭るために建てられ、ずっとみんなで世話をしてきたという話を子どものころから聞かされてきた。今思うと、そのお坊さんが円空さんだったんだな」と地域の人は話してくれました。

※「廻国・円空ー加茂をとおりてー」展

平成18年2月4日より、美濃加茂市民ミュージアムにて開催